

し え ん ぶ 支援部だより

令和7年3月4日
東京都立水元特別支援学校長
村上 卓郎
担当：支援部 佐藤
第6号

今年度も一年間、皆様にご理解及びご協力いただきありがとうございました。

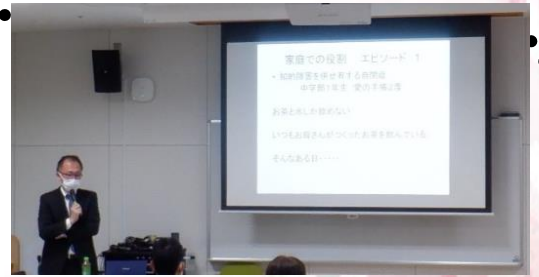
近年、就学人数が増えていることから改善した取り組みとして、幼児教室「わくわくアイリス」を2グループ分け、今まで10名のところ20名に増やしました。就学への不安が和らぎ、入学後のイメージがもて、学校の雰囲気慣れてほしいという思いから始まった取り組みです。

また、進路について、様々な御意見をいただき、来年度は新たな進路関係の情報提供を計画していきます。これからも保護者の方々からの御意見を形に変えていけるよう、取り組んで参ります。

＜保護者向けキャリア教育講演会＞

令和6年12月17日（火）文教大学 准教授北川貴章先生

を講師に迎え、「キャリア教育って何だろう？」～将来のために、今できることを考える～をテーマに実施しました。



社会参加に向け、自身の夢や希望を見つけていく過程への支援を保護者がキャリア教育を深く理解し、学校と連携して計画的に進めるには、今、何ができるのかを見つける研修会を実施しました。御参加いただいた方々の声を届けます。

・困りごとが何なのかを観察することの大切さが理解できました。

・「自立」は「自己」の力を可能な限り発揮し、より良く生きていこうとすることと伺い、考え方が変わりました。

・改めてキャリア教育は、日々デザインされていくものと感じました。

・就職のイメージだけでなく、その年代におけるキャリアがあると感じました。

などのお言葉をいただき、キャリア教育への関心が深まる講演会となりました。

当日参加できなかった方々に「オンデマンド配信」いたします。

＜保護者向け進路講演会＞

令和7年2月17日（月）葛飾特別支援学校の教務主任と進路専任を講師にお招きし「進路講演会」を実施しました。

参加希望者は24名でした。講演内容は、高等部での生活がイメージでき、どんな実習があるのか、どんなカリキュラムなのかなど、詳細な情報で進学への安心感がもてたのではないのでしょうか。さらに高等部卒業後の進路情報をたくさん聞くことができ、とても充実した講演会となりました。また、お子さまの将来像を見据える上で大切なことや、今から取り組めることなどについてもお話がありましたので、本校教員とも相談しながら、取り組んでいければと思います。

当日参加できなかった方々に「オンデマンド配信」いたします。

副籍交流

令和6年度は、166名の児童・生徒が副籍交流を実施しました。(令和7年1月現在)

先日ご記入いただいたアンケートでは、「お友達に声をかけてくれたことや名前を覚えてもらえたことが嬉しかった。」「お便りで地域の学校の行事や学習内容が分かり、身近に感じる事ができた。」等、交流して良かったという感想を多くいただきました。次年度も、地域指定校や関係機関と連携しながら、副籍制度の充実を目指していきます。

令和6年度の具体的な直接交流・間接交流の例をまとめました。これからの交流活動の参考にしていただきたいと思います。

直接交流

- 小・中学校を訪問して、学校便りを直接交換する。(朝の会、帰りの会等)
- 帰りの会にダンスや歌、ミニゲームで交流する。
- 行事を参観する。(運動会・音楽会・学芸会・展覧会等)
- 授業に参加する。(国語・算数・理科・音楽・体育などの教科、学級活動等)
- 給食を一緒に食べる。
- 休み時間に一緒に遊ぶ。
- 全校集会に参加する。
- 校外学習に参加する。

など

間接交流

- 学校交換便で、学校便りを交換する。
毎月、地域指定校の学校便り・学年だよりを学校経由で御家庭にお届けしました。
水元特別支援学校からも学校便りを地域指定校へ送付し、校内掲示をお願いしています。
- 学校行事の案内やプログラム、招待状をもらう。
- 自己紹介カードや図工作品の紹介カードを作成し、地域指定校で紹介・掲示をする。
- 地域指定校の展覧会に、図工作品を展示する。

など

☆副籍交流の交流内容変更を希望される方は、新年度の個別面談で担任にお伝えください。

